

こんにちは。

留学開始から二か月が過ぎましたが、自身の英語力や現地での生活に変わりはないように感じます。日常会話の中で聞き返す回数は減少したように思いますが、授業やホストファミリーの世間話などまだまだ理解できないことばかりなので、引き続き努力してリスニング力、スピーキング力を磨いていきたいと思います。

学校生活では、三月に無事ターム1を終え、今はイースターホリデーと呼ばれる二週間の休暇中です。コロナウイルスの影響でオーストラリアの公立高校は休校ではなく自由登校という形をとっており、私とホストシスターは通常より一週間早く学期を終えました。三月末には学校に来る生徒の数はかなり減っていて、ある日は先生を含めて5人で授業をしたこともありました。オーストラリアで生活していると思うのは、現地の人たちは皆、危機意識が高いということです。国内で感染が深刻化する前から自宅勤務や外出自粛などを徹底していて、学校やスーパーなどではソーシャルディスタンスといって必ず人と人の距離を1.5M以上空けるように指示され、レジではプラスチック板のシールドがあります。外出は一切できませんが、私は庭にあるプールで毎日泳いでストレス発散をしています。

この一か月のなかで最も大きいイベントは学校の期末試験でした。オーストラリアの高校の試験は日本のように試験の日に全教科やる訳ではなくて、テスト週間のなかで先生の好きな日付でテストが行われます。やってみた感想として日本よりかなりゆるいなと思いました。日本のように二週間前からしっかりとテスト勉強をするわけでもなく、日々の授業をきちんと受けていれば、テスト勉強なしに簡単に解くことのできるレベルであると思います。そして衝撃的だったのは試験開始前に問題を読むことができること、鉛筆やシャープペンシルが禁止だということでした。

私のテスト科目は数学、日本語、中国語、法律でした。日々の授業をきちんとこなす以前に英語を理解することに必死だった私は、テストの結果もボロボロでした。事前に先生に相談をし、課題を出してもらったり補習をしてもらったりしましたが、問題文は読めない、回答は英語で書けない。悔しかったです。改めて現時点で私は、現地の学生と同じ土俵にすら上がっていないことを痛感しました。英語と授業の理解が完璧にできても、それはまだほかの生徒と同じスタートラインに立っただけのことで、そこからさらに努力しなくてはなりません。留学生だから、英語ができないからと言い訳できるのは最初の学期だけだと思います。周りを十分頼ってこれからも頑張っていきたいです。今後のモチベーションになる素敵な経験でした。

二か月目を過ぎてからは生活に”慣れる”のではなく”楽しむ”がメインになってくるのではないのでしょうか。社会情勢もあり、できることも限られてはきますがそれでも後悔が残らないよう精いっぱい留学を楽しもうと思います。来月の報告書では英語力が伸びた！と自信をもって書けるよう、勉強も頑張ります。

白鷗高校 12 期生 次世代リーダー8 期生 K・R